

# 聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成 23 年 9 月 10 日  
〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目 10 番 31 号 電話 093 (541) 2409 番

## あのね、お参りしたよ・・・

### 平成23年度 初参式

去る6月12日、平成23年度の「初参式」が行われました。今年は4人のかわいい子どもさんが参加して下さいました。ありがとうございました。

とてもお利口で家族の方と一緒に参りできました。お子さまの今後の健やかな成長を心より念じます。



前列左側より

やまもと ゆう      やなぎ いちり      みついし あおい      かぎたに こうさく  
山本 優くん      柳 いちり ちゃん      三ツ石 蒼 ちゃん      鍵谷 光作くん

最近お誕生のお子様へ・・・来年はぜひどうぞ。お待ちしております。

# 「初参式」は、こうして行われています。



色紙に手形を入れます。「おはよう!」「よろちく!」 みんなで撮らしてよーこちらを見てー 「家族で」



初めての「お焼香」



「お経」のお勤め



住職のお祝いの言葉



最後はやっぱり・・・



お土産渡しでおしまい



手形色紙と家族で撮った写真は一年間本堂に掲示します。



# かすみ草の会 23.8.21 夏の集いバザー



今年はバザーの始まりは雨。保育園の室内での販売となりました。  
 定番「フルーツポンチ」とてもおいしそうでしょう。冷たくほんのり甘い。最高ですよ。  
 夕刻雨上がりの園庭にて保育園児の盆踊りと小倉祇園太鼓、楽しませていただきました。

# ご 案 内

## 秋 季 彼 岸 法 要

と き 平成 23 年 9 月 20 日より 21 日まで

	20 日(火)	21 日(水)
昼 席	午後 1 時 30 分	午後 1 時 30 分

講 師 山口市小郡矢足 蓮 光 寺

本願寺派布教使 岡 本 達 美 師

どうぞお誘いあわせのうえお参り下さい。

**親鸞聖人 750 回大遠忌法要に参拝しよう!**

**50 年に一度 小倉組団体参拝 11 月コースの最終案内**

ご案内が来ています。当初の予定からコース変更となっておりますので改めて申し込み方受け付けます。(別紙案内同封) **9 月 30 日までの受付です。**人数制限まであと少しです。住職同行いたします。ぜひとも申し込み下さい。お寺までどうぞ

仏法には無我と仰せられ候ふ。われと思ふことはいささかあるまじきことなり

《蓮如上人御一代記聞書八十》

私たちの世の中をみますと、「自分が努力した」とか、「私が働いた」とか、「俺が助けたんだ」とか、とかく自己を前面におし出して、自己中心の言動をしていることがいかに多いことでしょう。

無我ということは、この「私」「自分」「おれ」を捨てることです。努力していても、「自分が」という思いを起こしてはならないといましめられるのです。この「自分が」という思いは、努力しているのは自分だけだ、という思いあがりとなっていきます。

「自分が」「私が」「おれが」という思いは、我執(自己中心の執らわれ)というのですが、この我執を捨てよ、と仏教では教えています。なぜなら、自分中心に考え行動するなら、絶対に人をうけいれることはできず、対立し争うほかはなく、それでは真の人間の姿とはいえないからです。また、努力していても、「自分が」という思いがあるとき、その努力をふりかざして、人を見下したり、非難したり、あるいは自慢したりするのであって、せっかくの努力もかえってその人を損なうことになるからです。

これに対して、努力していても自分は努力しているのだという思いもなく、ひたすら努力している人を見るとき、その努力はどんなに私たちの心をひきつけることでしょう。「私が努力した」といわれると、私たちはすぐ「自分だって努力しているんだ」と反発したくなります。努力しながらも、少しもそれを自分の努力としない人の姿にふれると、私たちはその人の努力を心から讃えなくなるのです。

無我になるとは、自己を捨てることを言いますが、自己を捨てるとは、自分を無にし、「自分が」という思いを捨てることです。この自分を捨てた行為ほど美しいものはなく、人の心を打つものはないのです。

行事ご案内【如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし】

秋季彼岸法要準備会、  
秋の彼岸、納骨堂掃除

9月17日(土)

10:00より15:00まで  
本堂の荘厳、納骨堂の掃除  
皆さんのお手伝いお待ちし  
ています。よろしくお願ひし  
ます。昼食用意しています

第77回

かんたけほいくえん

うんどうかい

と き 10月9日(日)  
9:30より  
ところ 寿山小学校運動場

門司 鎮西別院

永代経法要ご案内

10月3日(月) 朝 10:00  
~6日(木) 昼 13:30  
教化団体(仏婦・仏社)の  
参拝日 3日(月)  
小倉組の参拝日 6日(木)

次回の法要のご案内 親鸞聖人御正忌 報恩講法要

【とき】 平成 23 年 11 月 昼席 13時30分

25日(金) 昼席のみ 26日(土) 昼席のみ 27日(日) 昼席のみ  
おと き 27日(日) 12時より

【講師】 大分県宇佐市 崇福寺前住職 本願寺派布教使 前田賢聖師

浄土真宗の一年でもっとも大切な法要です。家族みんなで参りましょう。

## 編集後記

九月に入り、空が青く、高く感じます。季節は秋へとむかっているのですね。今年も猛暑の日が続きましたが、皆様お身体の方はかがでしょうか。夏の疲れがでる時期です。どうぞ無理なさらないようにご自愛下

さい。今年のお盆もお寺の方にはたくさんの方々がお参りに来て下さり、久しぶりのうれしい再会もさせていただきました。各ご家庭へのお参りも大変お世話になりました。今年には二月に得度を受け、僧侶にならせていただいた次女もお参りをさせていただきました。「お父さんをたすけたいから」と一言だけ言い、お衣を身につけお参りをさせていただきました。お家がわからないところは玄関前まで坊守が送って行きました。玄関の中に行子が入ると、「わぁーありがとう。来てくれたのね。まっていたよ。」と言って下さる声を背に何度も聞かせていただいて、私はご門徒様のお心が本当にありがたくて涙がでました。行子にとってもご門徒様あつての「お寺」であるということをもっと感じさせていただいた夏になりました。まだまだ、まだまだの身です。どうぞご指導の程これからもよろしくおねがいたします。六年前、住職が体調をくずし、お盆のお参りができない時がありました。「もうしわけない」とベットの上でいていた父の言葉を中学二年の行子は側でじいーときいていた光景を思い出します。「お参りさせていただけることは、うれしくて、ありがたい」といつも言う住職の、父の言葉をただただまっすぐに聞いて、仏さまの道を寺族みんなで歩いていきたいと思えます。

秋のお彼岸法要、たくさんのお花をいれてお待ちしております。どうぞお参り下さい。心よりお待ちしております。

称名